

〔国際会議開催〕

申 請 者	北海道大学 教授 宮永 喜一	2185013
国際会議名称	2019 年 IEEE 回路とシステム国際シンポジウム IEEE International Symposium on Circuits and Systems 2019 (ISCAS2019)	
開 催 期 間	2019 年 5 月 26 日～5 月 29 日	
開 催 場 所	札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

回路とシステムソサイエティは、多くの国際会議を主催、共催しているが、その中で、本国際会議（IEEE International Symposium for Circuits and Systems (ISCAS)）は、フラグシップコンファレンスといわれる、最高レベルの会議であり、最も重要な国際会議である。回路とシステムの研究領域は、アナログ回路、ディジタル回路、LSI と、それらに関するシステムにかかわるものであり、応用範囲は、無線通信、有線通信、生体工学、ナノテクノロジー、コンピュータシステムなど広範囲にわたる。特に最近では、IoT (Internet of Things) などに関する研究が盛んであり、近未来のスマート社会に向けた研究開発関連の発表が、多数期待できる。このような分野での重要な国際会議である ISCAS 2019 を日本で開催することは極めて意義が大きい。

取り扱うテーマは、電気・電子回路およびそれを用いて実現されるシステムに関する基礎理論から応用技術までを含む幅広いもので、このような分野の先端技術に関する意見交換および議論、ならびに更なる推進を行うことを ISCAS は目的としている。また、最新の成果を発表し議論するだけでなく、この分野の研究者・技術者が一堂に会する機会を捕らえ、回路とシステムソサイエティからの各種表彰や、各種専門委員会 (Technical Committee) の会議も ISCAS 開催に合わせて行われるため、回路とシステム関連分野の総会的意味合いを持つ。

本国際会議の国内参加者は 400 名弱であった。ここ数年の日本からの ISCAS 参加者数は 100 名程度であり、今回日本開催としたことで多くの国内研究者に会議への参画を促すことが可能となった。また、回路とシステム分野における日本のプレゼンス向上にも繋がったものと考ええる。